

**皮膚良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍**

粉瘤・ほくろ・脂肪腫などの良性腫瘍から悪性黒色腫・基底細胞癌などの悪性腫瘍まで幅広く対応しています。

疾患によって、外科的手術、液体窒素による冷凍凝固療法、電気焼灼、炭酸ガスレーザーなどを選択します。植皮、皮弁やリンパ節生検をすることもあります。

**レーザー治療**

Qスイッチアレキサンドライトレーザーを用いて、原則として保険適応のある疾患の治療（太田母斑、後天性両側性太田母斑様色素斑、異所性蒙古斑、外傷性刺青など）を実施します。乳幼児から成人まで対応します。

**莓状血管腫（乳児血管腫）**

2012年よりプロプラノロール内服療法の臨床試験を実施しており、50例以上の治療経験があります。レーザーなど従来の治療より効果が高いです。現在は保険診療でヘマンジオールシロップを処方できるようになりました。入院の必要は無く、外来で実施しています。

**円形脱毛症**

P3の記事をご参照ください

**褥瘡**

細菌感染を伴う場合は抗生物質を投与し、必要な時はポケット切開や壊死組織の除去も行います。

**乾癬**

外用療法、紫外線療法、内服療法から生物学的製剤まで様々な治療を実施できます。

**水疱症**

天疱瘡や類天疱瘡の重症例には、ステロイド内服、免疫抑制剤内服、免疫グロブリン大量療法などを実施できます。

**光線療法**

Narrow band UVB で、尋常性乾癬、尋常性白斑、皮膚悪性リンパ腫などの治療を行います。

**陥入爪**

外科的治療、ワイヤ法、巻き爪用クリップ、フェノール法などを行います。

当院皮膚科の疾患別治療方法についてご紹介します

**湿疹、皮膚炎群**

アトピー性皮膚炎はガイドラインに沿って、適切な治療をします。一般的な湿疹についても、古典的軟膏療法と最新の軟膏を併用し、効果を上げます。

接触皮膚炎、薬疹などのアレルギー疾患は、その原因を究明するため、パッチテストや皮内テストやDLSTを積極的にしています。金属パッチテストやパッチテストパネルも扱っています。

**多汗症**

塩化アルミニウム外用や抗コリン薬内服の他に、腋窩で重度の場合はボトックス注射を行います。

**内臓疾患に伴う皮膚病変**

閉塞性動脈硬化症、糖尿病、膠原病、血管炎などは他科と連携して、最適な治療をします。

**舌下免疫療法**

スギ花粉症の舌下免疫療法、およびダニ抗原によるアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法もできます。

その他、ありふれたものから珍しいものまで皮膚疾患一般を幅広く診療します。50歳以上の帯状疱疹の予防接種も実施可能です。

⊕ 特別な処置・手術以外は予約制ではありません。⊕  
当科受診時には、前医からのご紹介状、お分かりになる限りの現在までの経過、過去・現在のすべての内服薬・外用薬の情報・残薬などをご持参下さい。⊕

**担当医師紹介**

部長  
鑑 慎司  
(かがみ しんじ)

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医  
日本レーザー医学会レーザー専門医・指導医  
医師緩和ケア研修会修了



特別顧問  
日野 治子  
(ひの はるこ)

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医  
インフェクションコントロールドクター  
日本感染症学会認定医  
医師緩和ケア研修会修了

井上 里佳 (いのうえ りか)  
※9月末をもって退職となります

角田 麻衣子 (つのだ まいこ)

岸 由利子 (きし ゆりこ)